



- SRI 8610C 本体
- 2 連 FID 検出器
- 10 ポート ガスサンプリングバルブ
- エアーコンプレッサー内蔵
- Hayesep-D カラム

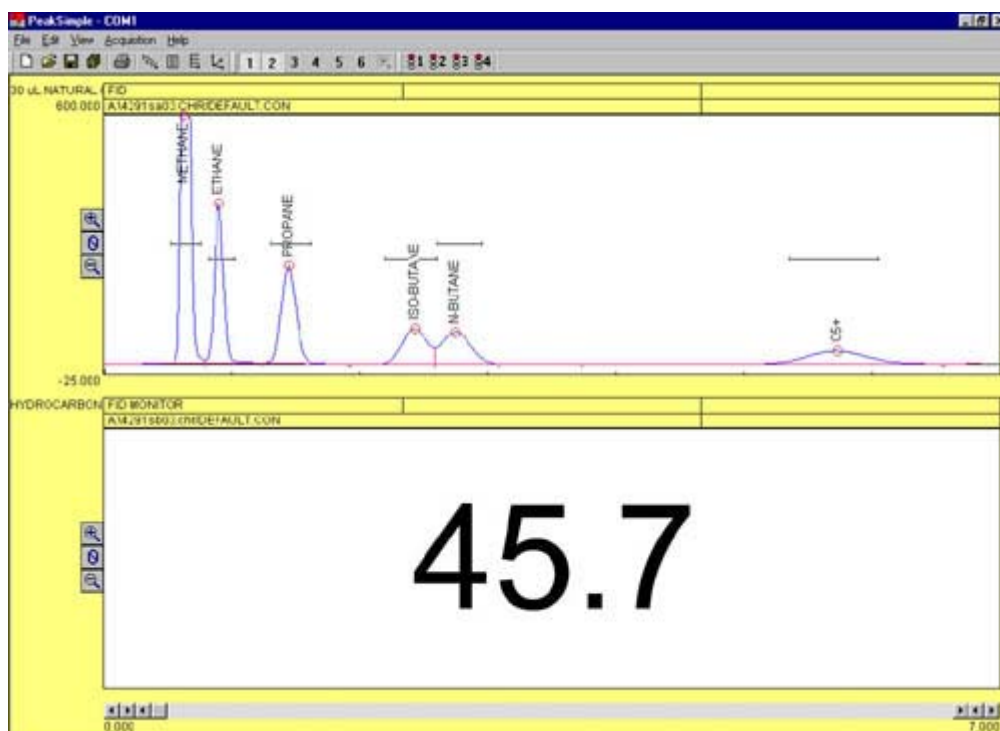
この連続直読 GC システムは、ガス流試料の正確な組成を見極めるためにクロマト的分離を周期的に描くと同時に、ガス流中の総炭化水素量を連続的にデジタルで読み取ることが出来るように構成しました。

圧力制御された試料のガス流は、GC 本体に装着された 10 ポートバルブを収納している加熱オーブンの隔壁に取り付けられたフィッティングに接続され、そこから 10 ポートバルブに取り付けられているループを通過する流路と、総炭化水素含有量を常時モニターする第二 FID 検出器に接続されています。試料のクロマト分析繰り返し回数および時間間隔は自動で制御され、サンプリングバルブ ループで計量された試料はプログラムに従って自動で分析カラムに移送され、含有されている炭化水素は個別に分離され、第二 FID 検出器で測定されます。

試料の構成パターンを示すクロマトグラムと総炭化水素量を示す数字は、PeakSimple ソフト画面の上の別のチャンネルに表示されます。アラームはいかなるレベルにも設定できます。

分析結果のレポートはエクセル或いは類似書式に転送できます。

上段のクロマトグラムは C5 以上はバックフラッシュでカットし、C1~C4 の炭化水素を 4 分以内で分離したものです。



下段の数字は PeakSimple ソフトの Data Logger Mode を使用して表示させた総炭化水素量です。